学習指導案　略案様式（特別の教科　道徳を除く）

３年１組	指導者	川原　正裕	教科等	算数科

単元

単元名等	くふうして整理しよう	
目標	**評価規準**	**※どちらかを選択し、　　で囲ってください。**
知識及び技能	知識・技能	○観点を決めて資料を分類整理し、表やグラフに表したり、読み取ったりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆表や棒グラフを用いて資料の特徴を考察し、見いだしたことを根拠とともに説明することができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○資料を分類整理して表や棒グラフに表すことのよさに気づき、生活や学習に生かそうとするようにする。

単元の学習展開（全１０時間）

導入	□身の回りの事象について、「正」の字などを用いて数量を調べ、観点を決めて整理することを通して、表にまとめるよさに気づく。
展開	□棒グラフの特徴や読み方、表し方を理解し、資料を棒グラフに表したり、読み取ったりする。 □観点を決めて資料を分類整理し、表や棒グラフを用いて資料の特徴を考える。
終末	□二次元の表や複数の棒グラフを組み合わせた表し方について理解し、表やグラフを比較しながら、資料を分かりやすく整理・表現するよさをとらえる。

本時（８／全10時間）

ねらい

一次元の表を組み合わせて整理した二次元の表について、
整理する前の一次元の表と比べながら資料の分かりやすさを考えることを通して、
そのよさを根拠とともに説明することができるようにする。
（下線部…単元の評価規準との関連**【◆思考・判断・表現　ノート・タブレットの記述】**）

学習過程

「めあて」
「表を組み合わせて整理しよう。

『課題』
『一つの表にまとめたことで、どんなことが分かりやすくなったかな。』

『まとめ』
『３年生全体の人気メニューが分かる。学年全体とクラス別の人気が分かる。
クラスどうしや学年全体とクラスの人気が比べやすい。』

「振り返り」の視点
・二次元の表の読み方や表し方をとらえ、そのよさを説明できたか。
・日常生活において活用できるか。また、二次元の表を作るときに気を付けることはなにか。・

努力を要する状況の児童に対する手立て

【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】
・表の中に合計が２つある意味がわからない。	・表の一部分を隠すことで、必要な数値に注目しやすくする。
・どこを足し算すればよいのかわからない。	・表の中の言葉に注目させる。 ・表を縦に見たり、横に見たりさせる。
・合計欄のチェックの仕方が分からない。	・合計は、どこの数値の合計なのかを改めて確認させることで、チェックの仕方を身に付けさせる。